



今すぐご登録を！

本機は P2HD 5 年間無償
修理特約の対象商品です。

詳しくは 31 ページをご覧ください。

http://panasonic.biz/sav/pass_j/

Panasonic®

取扱説明書 Vol.1

メモリーカードカメラレコーダー 品番 AG-HPX255

Volume 1

初めにお読みください。

本書は、メモリーカードカメラレコーダーの基本操作について説明しています。
より詳しい操作説明は、同梱の CD-ROM 内に収録の、「取扱説明書 Volume 2」
(PDF) をご覧ください。

P2HD

AVC INTRA

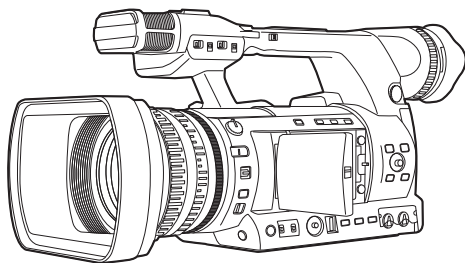
DVCPRO HD

DVCPRO 50

DVCPRO

LN

SD HG™



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(→ 6 ~ 10 ページ) を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

SS0612MO1043 -FJ
Printed in Japan

JAPANESE

VQT4K97-1

はじめに

各部の名称

準備

メニュー

ご参考

- SDHC ロゴは SD-3C、LLC の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Microsoft[®]、Windows[®] は、米国 Microsoft Corporation[®] の米国、および各国における商標、または登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Apple[®]、Macintosh[®]、Mac OS[®] は、米国 Apple Inc. の米国、および各国における商標、または登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。

この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本書内のイラストについて

- カメラレコーダー本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。
- カメラレコーダー本体の端子の位置を示すために、本体に付属の保護キャップは「各部の名称」(→ 15 ページ) 以外では表記していません。

参照ページについて

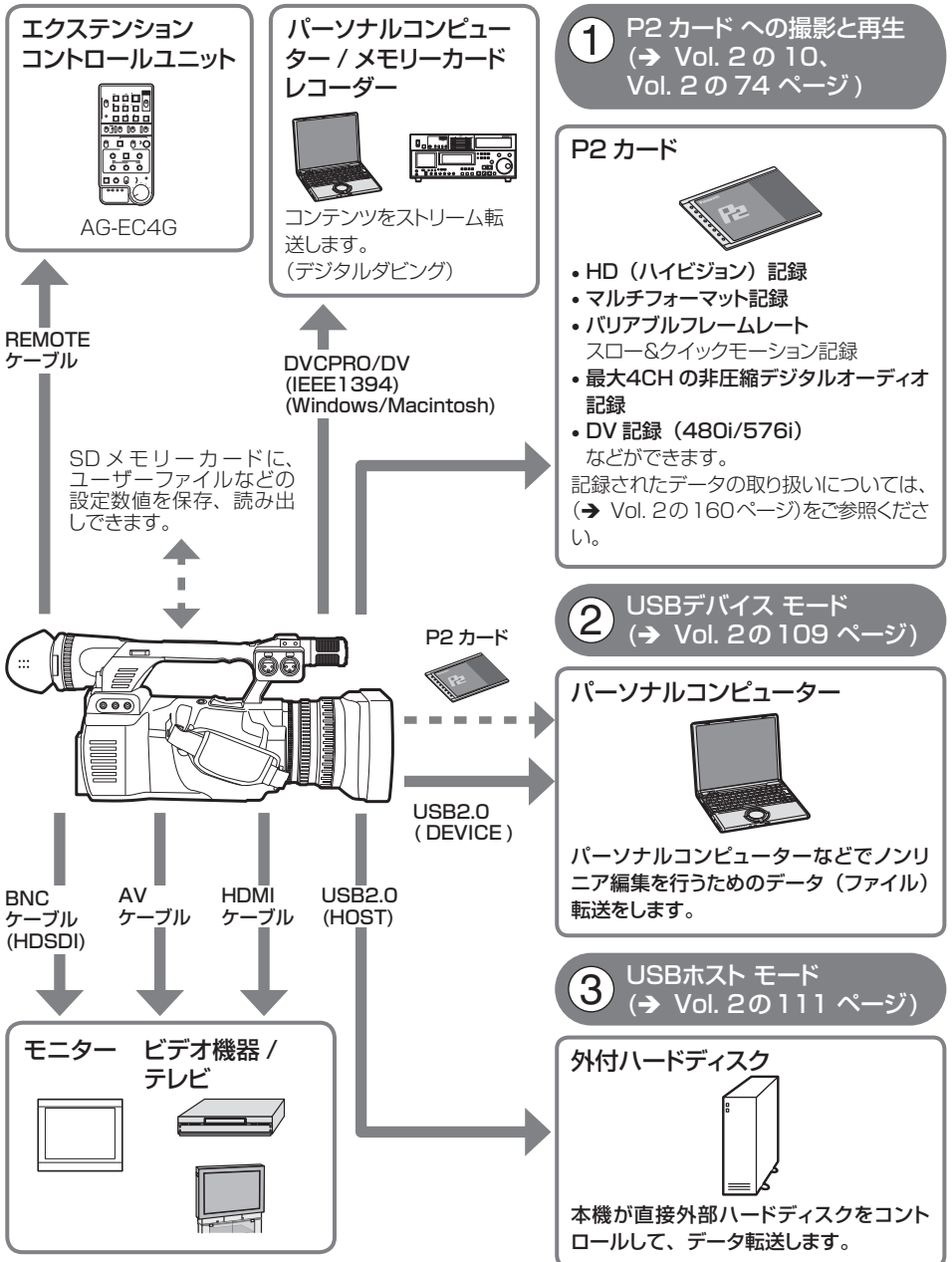
- 本書では、参照ページを (→ 00 ページ) のように示しています。

用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、どちらも SD メモリーカードと記載しています。
- 「P2」ロゴがついたメモリーカード（別売の AJ-P2C064AG など）を「P2 カード」と記載しています。
- 1 回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。

本機の使いかた

本機は、カメラ部に光学 22 倍カム式ズームレンズおよび 1/3 型 220 万画素 3MOS センサーを搭載し、記録再生部に AVC-Intra 100 圧縮記録を標準装備することにより、フル HD の高画質映像を実現するハンドヘルド P2 メモリーカードカメラレコーダーです。HD/SD マルチフォーマットに対応、GENLOCK 機能とリモートコントロール機能により、遠隔操作を可能とするマルチカメラ運用を実現し、P2 ならではの信頼性・即時性により収録・編集のワークフロー革新をもたらします。



本機の使いかた.....	3
安全上のご注意.....	6

はじめに

使用上のご注意.....	11
ご使用前に.....	13
付属品.....	14
別売品.....	14

各部の名称

各部の名称.....	15
左面.....	15
上面、右面.....	16
前面、後面.....	17
リモコン.....	18

準備

バッテリーの充電.....	19
充電する.....	19
電源の準備.....	20
バッテリーを使う.....	20
ACアダプターを使う.....	20
グリップベルトの調節.....	21
ショルダーベルトの取り付け.....	21
レンズフードの取り外し・取り付け.....	21
レンズキャップの取り外し・取り付け.....	22
アイカップの取り付け.....	22
リモコンの準備.....	23
コイン電池を入れる.....	23
リモコンの設定.....	23
電源の入れかた・切りかた.....	24
カレンダーを合わせる.....	25
内蔵電池の充電.....	26

メニュー

設定メニューの基本操作.....	27
設定メニューの操作方法.....	27
設定メニューを初期化する.....	28
設定メニューの構成.....	29

ご参考

保証とアフターサービス (よくお読みください).....	31
修理を依頼される時.....	31
定格.....	32

撮影

ファインダーの使いかた
タリーランプ
撮影の基本操作
SD / SDHC メモリーカードを使う
ズーム機能を使う
プログレッシブモードで撮影する
バリアブルフレームレート (VFR) で
記録する
マニュアルモードで撮影する
ホワイトバランス / ブラックバランスを
調整する
便利な撮影機能を使う
特殊な記録機能を使う
シャッタースピードを調整する
入力音声を切り替える
撮影用の設定を使い分ける (シーンファイル)
タイムデータを利用する

再生

再生の基本操作
サムネール操作
再生に便利な機能

編集

外部機器を接続する
DVCPRO/DV 端子での接続
P2 カードのノンリニア編集をする
(PC モード: USB デバイス)
ハードディスクドライブを使用する
(PC モード: USB ホスト)

表示

画面の表示

メニュー

メニューの一覧

ご参考

故障?と思ったら (Q&A)
本機搭載ファームウェアのアップデート
お手入れについて
保管上のご願い
P2 カード記録データの取り扱いについて
メモリーカードのご使用について
本製品に関するソフトウェア情報
海外で使う
記録フォーマット一覧
エクステンションコントロールユニット
使用上のご注意
さくいん

■取扱説明書 PDF ファイルの開き方

CD-ROM を挿入してソフトウェアのインストール画面が立ち上がる場合は、インストールを中止してください。
CD-ROM 内の [INDEX.pdf] を開くと取扱説明書の一覧が表示されます。
開きたい取扱説明書のドキュメント名をクリックしてください。

■PDF ファイルをご覧いただくには、Adobe® Reader® が必要です。
アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



危険

バッテリーは…



- 指定以外のものを使わない
- 端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
- 分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
- 電子レンジやオープンなどで加熱しない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります）
⇒ 使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
⇒ 不要（寿命）になったバッテリーについては（⇒ 11 ページ）をご参照ください。
⇒ 万一、液もれが起これば、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。
目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。



- 本機専用のバッテリー充電器で充電する
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります）

バッテリー充電器は…



- 本機専用のバッテリー以外の充電には使わない
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります）

⚠ 警告

カメラレコーダーや付属品は…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグ
を抜く

- 異常があったときは、ACアダプターの電源プラグを抜く
 [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、
 煙や異臭、異音などが出たとき
 (そのまま使うと、火災・感電の原因になります)
 ⇒ ACアダプターを電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届く
 ようにしてください。
 ⇒ バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
 ⇒ 販売店にご相談ください。]



- 乗り物を運転しながら使わない
 (事故の誘発につながります)
 ⇒ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

- 可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない
 (火災の原因になります)
 ⇒ 粉じんの発生する場所でも使わないでください。



接触禁止

- 雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターやバッテリー充電器などの電源プラグに触れない
 (落雷すると、感電につながります)



分解禁止

- 分解や改造をしない
 (火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります)
 ⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



- 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする
 (火災や感電の原因になります)
 ⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。
 ⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。

リモコン用のコイン電池は…



- + と - は逆に入れない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れてたりしない
- ネックレスなどの金属物と一緒にしない
- 指定外の電池は使用しない
 (液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周辺破損の原因になることがあります)
 ⇒ 電池の交換方法は (→ 23 ページ) をご参照ください。

 警告 (つづき)

AC アダプター、バッテリー充電器は…



- 電源コード・プラグを破損するようなことはしない
[傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、
重いものを載せる、束ねるなど]
- 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない
- たこ足配線等コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100 V ~ 240 V 以外での使用はしない
(感電・火災の原因になります)
⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない
(感電・火災の原因になります)



- 電源プラグは、根元まで確実に差し込む
(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります)
⇒ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。
- 電源プラグのほこり等は定期的にとる
(プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります)
⇒ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

小さな付属品は…



- メモリーカード (別売品)、コイン電池、マイクホルダー用ねじ、マイクホルダーアダプター、INPUT 端子キャップは乳幼児の手に届くところに置かない
(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします)
⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 注意

カメラレコーダーは…



- レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない
(レンズにより集光されると、内部部品が破損し、火災の原因となります)
- 三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない
(三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります)
⇒ 三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。
- コンバージョンレンズなどを装着した状態で、ハンドルを持って振り回したり、ゆさぶったり、振り下ろしたりしない
(コンバージョンレンズなどの重量増加により、ハンドルを持って衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になります)
- ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない
(ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります)

カメラレコーダーや付属品は…



- 本機の放熱を妨げない
[押し入れや本箱など、狭いところに入れず、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない
(内部に熱がこもり、火災の原因になります)]
- 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない
(特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60℃以上) になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります)
- 油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない
(火災や感電の原因になります)
- 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない
(落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります)
(重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります)
- コードやショルダークラップを下にたらしたり、接続したコードを通路で引き回したりしない
(足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因になります)
- 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない
(本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど※の原因になります)
長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。
※ 血流状態が悪い人 (血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている) や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



- 病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う
(本機からの電磁波などにより、計器類に影響を及ぼすことがあります)

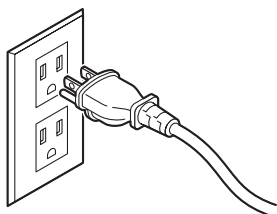


- 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターやバッテリー充電器の電源プラグをコンセントから抜く
(火災や感電の原因になります)

電源プラグ
を抜く

電源プラグの接地に関するご注意

- 本機に付属されている AC アダプター用の電源コードは、接地端子を備えた 3 ピンのコンセントに接続してください。



海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付電源コードを準備してください。

- 本機で使えるバッテリーについて
(2012年6月現在)

本機で使用できるパナソニック製バッテリーは VW-VBD55 です。

パナソニック純正バッテリー（充電式電池）ご使用のすすめ

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。

なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

使用上のご注意

雨天、降雪中、海岸などで使う時は、カメラレコーダーに水が入らないようお気をつけください。

- カメラレコーダーやカードの故障につながります。(修理できなくなることがあります)

磁気を発生する機器(テレビ、テレビゲームなど)からカメラレコーダーを遠ざけてください。

- テレビの上やその周辺でカメラレコーダーを使用すると、電磁波の放射により画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターが発生する強力な磁場は、録画内容を破損したり、画像をゆがめることがあります。
- マイクロコンピュータから放出される電磁波は、カメラレコーダーに悪影響を及ぼし画像や音声にひずみを生じさせることがあります。
- 磁気を発生する機器によりカメラレコーダーが悪影響を受け、正確に動作しなくなった場合は、カメラレコーダーの電源を切り、バッテリーを外すか、ACアダプターをコンセントから抜きます。そしてもう一度バッテリーを入れるか、ACアダプターを接続します。その後カメラレコーダーの電源を入れます。

カメラレコーダーをラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。

- ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音に悪影響が出るおそれがあります。

海岸などで使用する場合、砂やほこりがカメラレコーダーに入らないようお気をつけください。

- 砂やほこりでカメラレコーダーやカードが破損することがあります。(カードを出し入れる時にはお気をつけください)

バッテリー充電器とバッテリーについて

- バッテリーが適温でも [CHARGE] ランプが点滅し続けるときは、バッテリーかバッテリー充電器に故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かいとき、充電時間は通常より長くなります。
- バッテリー充電器をラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。バッテリー充電器とラジオは 1 m 以上離してお使いください。
- バッテリー充電器の使用中に、ノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先 最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ:
<http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



Li-ion

充電式

リチウムイオン
電池使用

カメラレコーダーを持ち運ぶ時、落とさないようにお気をつけください。

- 強い衝撃でカメラレコーダー本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。
- カメラレコーダーを持ち運ぶ時は、グリップベルトかショルダーベルトを持ち、ていねいに取り扱いってください。

カメラレコーダーに殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、カメラレコーダー本体が変形したり、塗装がはげるとおそれがあります。
- カメラレコーダーは、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

使用後は、バッテリーを外すか、または AC コードをコンセントから抜いておきます。

バッテリーの特性について

このバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度の影響を受けやすく、バッテリーの有効使用時間は温度が高くなる、または、低くなるほど短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、約 5 分ほどしかもちません。

バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

使用上のご注意（つづき）

使い終わったら、必ずバッテリーを外してください。

カメラレコーダーからバッテリーを確実に外してください。（付けたままにしておく、カメラレコーダーの電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます）

長期間バッテリーを付けたままにしておく、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

電源入りの状態で、バッテリーを取り外さないでください。

バッテリーの取り外しは、電源を切り、動作ランプが完全に消えてから行ってください。

バッテリーの端子部を保護してください。

バッテリーの端子部にほこりや異物が付かないようにしてください。

また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。

変形したバッテリーをカメラレコーダーに入れたり、バッテリー充電器に付けると、カメラレコーダーやバッテリー充電器側を傷めることがあります。

メモリーカードを破棄／譲渡する時のお願い

本機やパーソナルコンピューターの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報を変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパーソナルコンピューター用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

液晶について

- 液晶モニターやビューファインダーに、同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが生じることがありますが、数時間電源を OFF にしておく、元に戻ります。
- 液晶モニターのドットについては、有効画素の 99.99 % 以上の高精度管理をしていますが、0.01 % 以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 温度差が激しい所では、液晶モニターの液晶部につゆがつくことがあります。そのような場合は柔らかい乾いた布でふいてください。
- カメラレコーダーが冷えきっている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

レンズやビューファインダーのアイピースは、太陽に向けてください。

内部の部品が破損するおそれがあります。

端子の保護キャップについて

使用しない接続端子には、保護キャップを取り付けておいてください。

ご使用前に

ためし撮りをしましょう

- 大切な録画（結婚式など）の場合は、必ず事前のためし撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

必ずカレンダー、タイムゾーンの確認・設定を行いましょ

- 記録したコンテンツの管理、再生順序に影響します。記録の前にカレンダー、タイムゾーンの設定・確認を行ってください。（→ 25 ページ）

録画内容の補償はできません

- 本機および P2 カードの不具合により、撮影されなかった内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

- あなたがカメラレコーダーで撮影や録音した内容は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

レーザー光線についてのご注意

- レーザー光線がレンズに照射されると、MOS センサーを破損するおそれがあります。レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分お気をつけください。

1394 ケーブルで接続する時のご注意

- 本機の電源を切り、端子の形状と向きをご確認の上、接続してください。（→ Vol. 2 の 103 ページ）

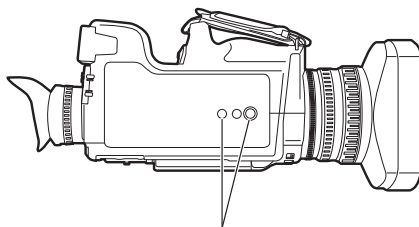
本機で使えるメディアについて

以下のメディアが使用できます。詳しくはそれぞれのページをご参照ください。

- P2 カード（→ Vol. 2 の 14、Vol. 2 の 160 ページ）
- SD/SDHC メモリーカード（→ Vol. 2 の 16、Vol. 2 の 161 ページ）

三脚の取り付けについて

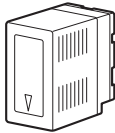
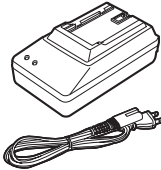
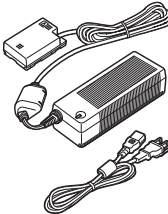

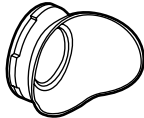
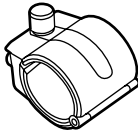
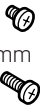

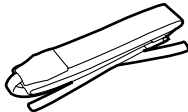

- 三脚取り付け穴は 1/4-20UNC と 3/8-16UNC のねじに対応しています。三脚側の固定ねじ径に合わせてお使いください。
- 三脚取り付け穴の深さは、5.5 mm です。本機を三脚に取り付けるときは、三脚のねじを無理に締め付けないでください。







底面の三脚取り付け穴に三脚を取り付ける。

その他の使用上の注意については（→ 11 ページ）をご参照ください。

付属品

<p>バッテリー※1</p> 	<p>バッテリー充電器 / ACコード</p> 	<p>ACアダプター / ACコード</p> 	<p>ワイヤレスリモコン リモコン用コイン電池 (CR2025) (→ 23 ページ)</p> 
<p>アイキャップ (→ 22 ページ)</p> 	<p>マイクホルダー (→ Vol. 2の101 ページ)</p> 	<p>マイクホルダー用ねじ (→ Vol. 2の101 ページ) 長さ 6 mm (2 個) 長さ 12 mm (2 個)</p> 	<p>マイクホルダー アダプター (→ Vol. 2の101 ページ)</p> 
<p>ショルダーベルト (→ 21 ページ)</p> 	<p>CD-ROM</p> 		

以下の付属品は本体に取り付けられています。

<p>レンズキャップ (→ 22 ページ)</p> 	<p>レンズフード (→ 21 ページ)</p> 	<p>INPUT 端子キャップ (2 個)</p> 	<p>グリップベルト (→ 21 ページ)</p> 
--	---	--	---

※1: 「バッテリー」の品番につきましては、別売品の項目(→ 下記)をご参照ください。

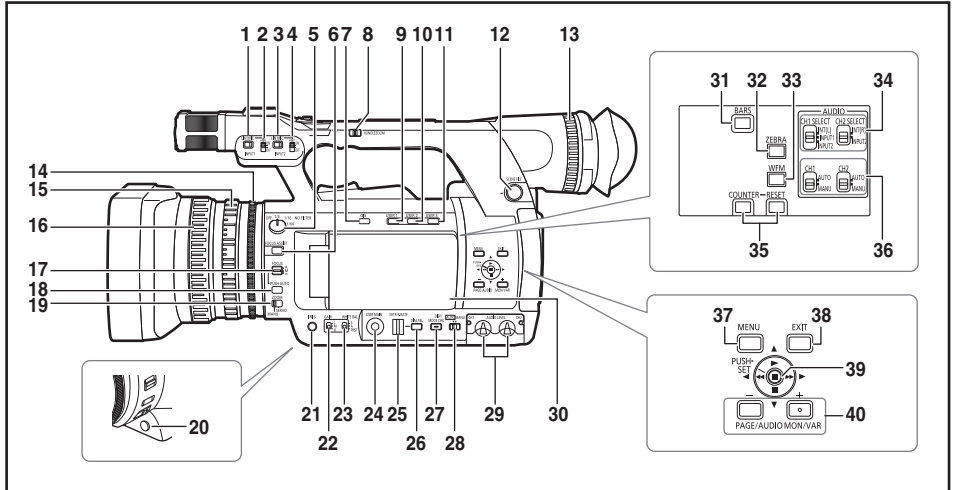
- ACコードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 付属品の追加ご購入は販売店にご相談ください。

別売品

- 超指向性マイクロホン
AG-MC200G
- バッテリー
VW-VBD55 (7.2 V、5400 mAh: 付属のバッテリーと同等品)

各部の名称

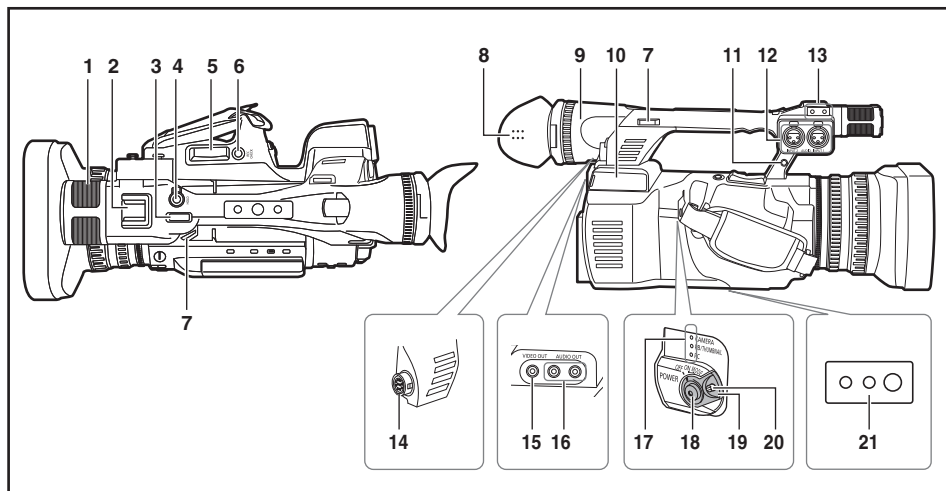
左面



- | | |
|--|---|
| <p>1 INPUT1 LINE/MICスイッチ(→ Vol. 2の52ページ)</p> <p>2 INPUT1 スイッチ (MIC POWER + 48 V)
(→ Vol. 2の52ページ)</p> <p>3 INPUT2 LINE/MIC スイッチ
(→ Vol. 2の52ページ)</p> <p>4 INPUT2 スイッチ (MIC POWER + 48 V)
(→ Vol. 2の52ページ)</p> <p>5 ND FILTERダイヤル(→ Vol. 2の31ページ)</p> <p>6 FOCUS ASSIST ボタン(→ Vol. 2の29ページ)</p> <p>7 OIS ボタン (→ Vol. 2の37ページ)</p> <p>8 HANDLE ZOOM スイッチ
(→ Vol. 2の18ページ)</p> <p>9 USER1 ボタン (→ Vol. 2の39ページ)</p> <p>10 USER2 ボタン (→ Vol. 2の39ページ)</p> <p>11 USER3 ボタン (→ Vol. 2の39ページ)</p> <p>12 SCENE FILEダイヤル(→ Vol. 2の56ページ)</p> <p>13 視度調整ダイヤル (→ Vol. 2の6ページ)</p> <p>14 IRIS リング (→ Vol. 2の30ページ)</p> <p>15 ズームリング (→ Vol. 2の18ページ)
ズームリングのピンが不要な場合、ピンホルダー
(→ 16ページの11)に取り付け、紛失しないよう
ようにしてください。</p> <p>16 フォーカスリング (→ Vol. 2の28ページ)</p> <p>17 FOCUS スイッチ (→ Vol. 2の28ページ)</p> <p>18 PUSH AUTOボタン(→ Vol. 2の28ページ)</p> <p>19 ZOOM スイッチ (MANUAL/SERVO)
(→ Vol. 2の18ページ)</p> | <p>20 AWB ボタン (→ Vol. 2の32ページ)</p> <p>21 IRIS ボタン (→ Vol. 2の30ページ)</p> <p>22 GAIN スイッチ (→ Vol. 2の30ページ)</p> <p>23 WHITE BALスイッチ(→ Vol. 2の32ページ)</p> <p>24 USER MAIN ボタン(→ Vol. 2の39ページ)</p> <p>25 SHTR/F.RATEダイヤル(→ Vol. 2の49ページ)</p> <p>26 DIAL SEL ボタン (→ Vol. 2の49ページ)</p> <p>27 DISP/MODE CHKボタン(→ Vol. 2の36ページ)</p> <p>28 AUTO/MANUALスイッチ(→ Vol. 2の10ページ)</p> <p>29 AUDIO LEVELつまみ (CH1、CH2)
(→ Vol. 2の54ページ)</p> <p>30 液晶モニター (→ Vol. 2の7ページ)</p> <p>31 BARS ボタン (→ Vol. 2の40ページ)</p> <p>32 ZEBRA ボタン (→ Vol. 2の35ページ)</p> <p>33 WFM ボタン (→ Vol. 2の40ページ)</p> <p>34 AUDIO CH1、CH2 SELECT スイッチ
(→ Vol. 2の52ページ)</p> <p>35 COUNTER - RESET ボタン
(→ Vol. 2の63ページ)</p> <p>36 AUDIO AUTO/MANU CH1、CH2 スイッチ
(→ Vol. 2の54ページ)</p> <p>37 MENU ボタン (→ 27ページ)</p> <p>38 EXIT ボタン (→ Vol. 2の112ページ)</p> <p>39 OPERATION レバー (→ 27ページ)</p> <p>40 PAGE/AUDIO MON/VAR ボタン
(→ Vol. 2の40、Vol. 2の99ページ)</p> |
|--|---|

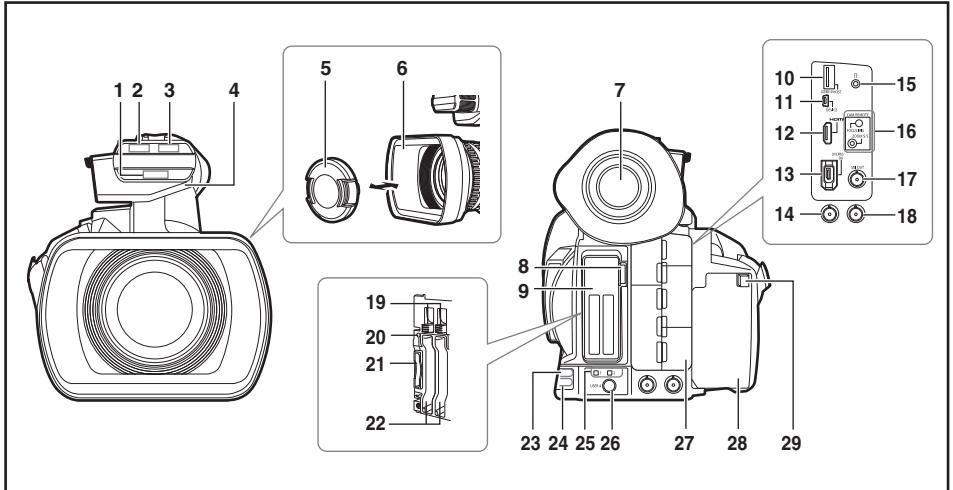
各部の名称 (つづき)

上面、右面



- 1 内蔵マイク (→ Vol. 2 の 52 ページ)
- 2 ライトシュー
- 3 ズームレバー (ハンドル側)
(→ Vol. 2 の 18 ページ)
- 4 START/STOP ボタン (ハンドル、ホールド機構付き)
(→ Vol. 2 の 10 ページ)
- 5 ズームレバー (→ Vol. 2 の 18 ページ)
- 6 REC CHECK ボタン (→ Vol. 2 の 12 ページ)
- 7 ショルダーベルト取り付け部 (→ 21 ページ)
- 8 アイカップ (→ 22 ページ)
- 9 アイピース (→ Vol. 2 の 6 ページ)
- 10 保護キャップ
使用しない接続端子には、保護キャップを取り付けておいてください。
- 11 ピンホルダー (ズームリングピン用)
(→ 15 ページの 15)
- 12 AUDIO INPUT 1/2 端子 (XLR、3 ピン)
(→ Vol. 2 の 52 ページ)
- 13 マイクロホンシュー (→ Vol. 2 の 101 ページ)
- 14 REMOTE 端子 (→ Vol. 2 の 104 ページ)
- 15 VIDEO OUT 端子 (→ Vol. 2 の 104 ページ)
- 16 AUDIO OUT CH1/CH2 端子
(→ Vol. 2 の 104 ページ)
- 17 動作ランプ (→ 24 ページ)
- 18 START/STOP ボタン (→ Vol. 2 の 10 ページ)

- 19 POWER/MODE スイッチ (→ 24 ページ)
- 20 ロック解除ボタン (→ 24 ページ)
- 21 三脚取り付け穴 (→ 13 ページ)



各部の名称

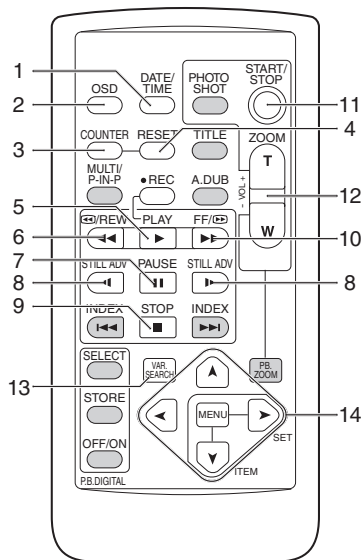
- 1 タリーランプ(フロント)(→ Vol. 2の9ページ)
- 2 リモコンセンサー (フロント) (→ 23 ページ)
- 3 ホワイトバランスセンサー (→ Vol. 2の32 ページ)
- 4 内蔵スピーカー
- 5 レンズキャップ (→ 22 ページ)
- 6 レンズフード (→ 21 ページ)
- 7 ビューファインダー (→ Vol. 2の6 ページ)
- 8 P2 カード /SD メモリーカードスロットカバーの OPENレバー(→ Vol. 2の10、Vol. 2の15 ページ)
- 9 P2 カード /SD メモリーカードスロットカバー (→ Vol. 2の10、 Vol. 2の16 ページ)
- 10 USB2.0端子(HOST)(→ Vol. 2の102ページ)
- 11 USB2.0 端子 (DEVICE) (Mini-B) (→ Vol. 2の102 ページ)
- 12 HDMI OUT 端子 (→ Vol. 2の104 ページ)
- 13 DVCPRO/DV 端子(→ Vol. 2の105ページ)
- 14 TC IN/OUT 端子 (→ Vol. 2の67 ページ)
- 15 ヘッドホンジャック (3.5 mm ステレオミニジャック) (→ Vol. 2の101 ページ)
- 16 CAM REMOTE ジャック *
FOCUS/IRIS (3.5 mm ミニジャック)
リモコン (別売) を接続して、フォーカス (ピント) 操作、およびアイリス (絞り) 操作をリモート制御できます。
- 17 SDI OUT 端子 (→ Vol. 2の103 ページ)
- 18 GENLOCK IN 端子 (→ Vol. 2の67 ページ)
- 19 P2カード取り出しボタン(→ Vol. 2の10ページ)
- 20 SD メモリーカードアクセスランプ (→ Vol. 2の16 ページ)
- 21 SD メモリーカードスロット (→ Vol. 2の16 ページ)
- 22 P2 カードスロット (→ Vol. 2の10 ページ)
- 23 タリーランプ (リア) (→ Vol. 2の9 ページ)
- 24 リモコンセンサー (リア) (→ 23 ページ)
- 25 P2 カードアクセスランプ (×2) (→ Vol. 2の15 ページ)
- 26 USER4 ボタン (→ Vol. 2の39 ページ)
- 27 保護キャップ
使用しない接続端子には、保護キャップを取り付けておいてください。
- 28 バッテリー取り付け部 (→ 20 ページ)
- 29 バッテリー取り外しボタン (→ 20 ページ)

各部の名称 (つづき)

リモコン

下記に示すボタンは本機では動作しない機能のボタンです。ご了承ください。

- PHOTO SHOT • TITLE • A.DUB
- MULTI/P-IN-P • SELECT • REC
- STORE • OFF/ON
- PB.ZOOM • INDEX



リモコン設定方法は、「リモコンの設定」(→ 23ページ)をご参照ください。

- 1 DATE/TIMEボタン(→ Vol. 2の100ページ)
- 2 OSDボタン(→ Vol. 2の100ページ)
- 3 COUNTERボタン(→ Vol. 2の63ページ)
カメラレコーダー本体のCOUNTERボタンと同じ働きです。
- 4 COUNTER RESETボタン(→ Vol. 2の63ページ)
カメラレコーダー本体のCOUNTER RESETボタンと同じ働きです。

<操作ボタン>

- 5 PLAYボタン(▶)(→ Vol. 2の74ページ)
- 6 ◀/REWボタン(◀◀)(→ Vol. 2の74ページ)
- 7 PAUSEボタン(⏸)(→ Vol. 2の74ページ)
本体の操作ボタンと同様に、MENU操作の時はSETボタンになります。
- 8 STILL ADVボタン(◀◀, ▶▶)(→ 23ページ)
- 9 STOPボタン(■)(→ Vol. 2の74ページ)
- 10 FF/FWボタン(▶▶)(→ Vol. 2の74ページ)

<撮影操作 / 音量調節部>


- 11 START/STOPボタン(→ Vol. 2の10ページ)
本体のSTART/STOPボタンと同じ働きです。
 - 12 ZOOM/VOLボタン(→ Vol. 2の18ページ)
 - 13 VAR. SEARCHボタン(→ Vol. 2の99ページ)
 - 14 MENUボタン(→ 27ページ)
カメラレコーダー本体のMENUボタンと同じ働きです。
- [◀] [▶] [▲] [▼] ボタン**
カメラレコーダー本体のOPERATIONレバーと同じ働きです。

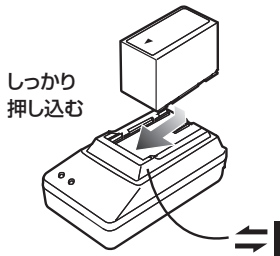
バッテリーの充電

充電する

バッテリーを使用する前に、バッテリー充電器で満充電を行ってください。

また、予備のバッテリーを1本用意されることをお勧めします。

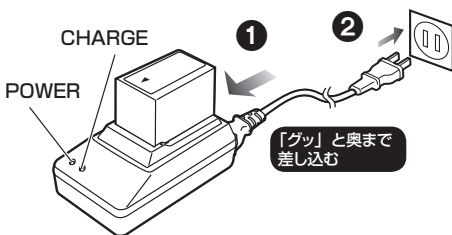
- 1 バッテリー充電器の  マークにそってバッテリーを水平にのせ、スライドさせ、しっかり押し込む。



- 2 ACコードを接続する。

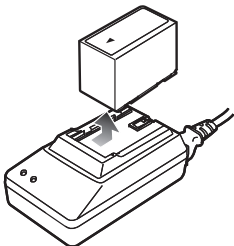
ACコードは **①②** の順に差し込んでください。

- バッテリー充電器の POWER ランプと CHARGE ランプが点灯し、充電を開始します。
- バッテリーを取り付けたときに CHARGE ランプが点灯しない場合、バッテリーを取り付け直してください。



- 充電が終わると、バッテリー充電器の CHARGE ランプが消灯します。

- 3 バッテリーをスライドさせて取り外す。



■充電時間と撮影可能時間の目安

バッテリー番	電圧 / 容量	充電時間	連続撮影可能時間 (液晶モニター使用時)
VW-VBD55	7.2 V / 5400 mAh	約 330 分	約 150 分

- 上の表は、動作周囲温度 20 ℃、動作相対湿度 60 % での時間です。それ以外の温度や湿度では、充電時間が長くなる場合があります。
- バッテリーの残量表示について詳しくは、(→ Vol. 2 の 124 ページ) をご参照ください。

- バッテリーおよびカメラレコーダー本体は、使用中や充電中には温度が高くなります。
- バッテリーは、放電した状態で保管してください。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、カメラレコーダーで充電容量を使い切ってから再保管することをお勧めします。
- バッテリーの温度が極端に高かったり低かったりするとき、もしくは、バッテリーが長期間使用されず放電したままになっているときは、CHARGE ランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- バッテリーが適温でも、CHARGE ランプが点滅し続けるときは、バッテリーかバッテリー充電器に故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かいときは、充電時間が通常より長くなります。
- バッテリー充電器をラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。バッテリー充電器とラジオは 1 m 以上離してお使いください。
- バッテリー充電器の使用中に、バッテリー充電器からノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。

各部の名称

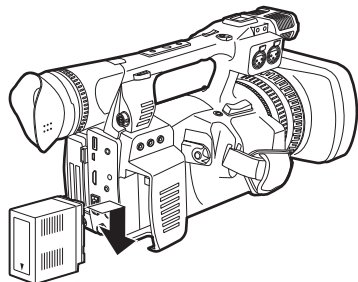
準備

電源の準備

バッテリーを使う

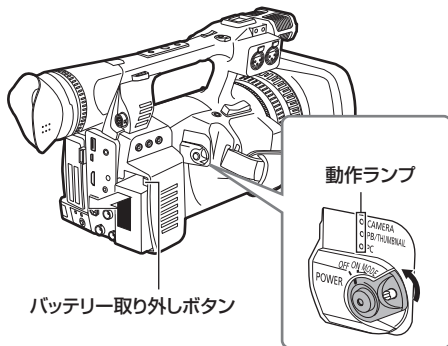
取り付け

カチッという音がするまで入れる。



取り外し

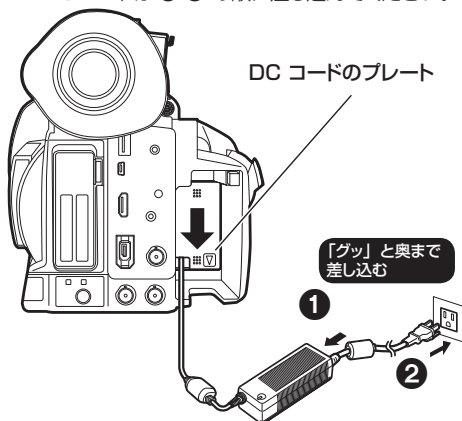
- 1 POWER/MODE スイッチを OFF にして、動作ランプが消灯したことを確認する。
(⇒ 24 ページ)
- 2 バッテリー取り外しボタンを押しながらバッテリーを持ち上げて取り外す。
 - バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。



AC アダプターを使う

取り付け

- 1 DC コードのプレートのカチッという音がするまで入れる。
- 2 AC コードを接続する。
AC コードは ① ② の順に差し込んでください。



取り外し

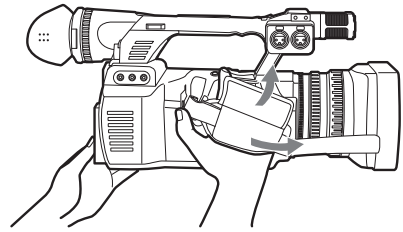
- 1 POWER/MODE スイッチを OFF にして、動作ランプが消灯したことを確認する。
(⇒ 24 ページ)
- 2 バッテリー取り外しボタンを押しながら DC コードのプレートを取り外す。
- 3 AC コードをコンセントから抜く。

- AC アダプターは全世界の電源電圧 (100 V - 240 V)、電源周波数 (50 Hz、60 Hz) で動作するように設計されています。ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。(⇒ Vol. 2 の 163 ページ) 変換プラグはお買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。
- 本機を使用しないときは、AC コードをコンセントから外してください。
- AC コードをコンセントから外しても、AC アダプターの電源ランプがしばらくついたままですが、故障ではありません。

グリップベルトの調節

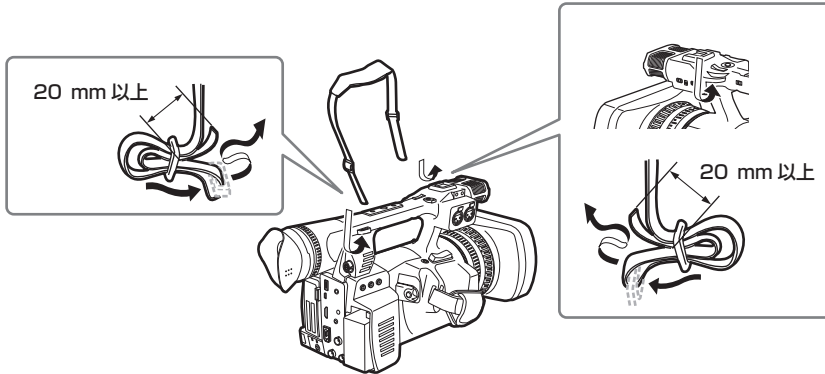
グリップベルトを手の大きさに合わせて調節してください。

- 1 カバーを開き、ベルトの長さを調節する。
- 2 カバーを元に戻す。
 - しっかりとカバーを密着させてください。



ショルダーベルトの取り付け

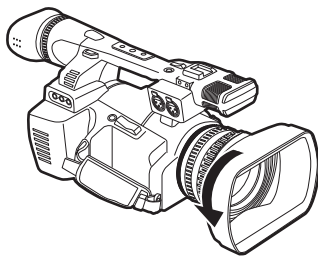
カメラレコーダーを落とさないように、ショルダーベルトを取り付けることをお勧めします。



レンズフードの取り外し・取り付け

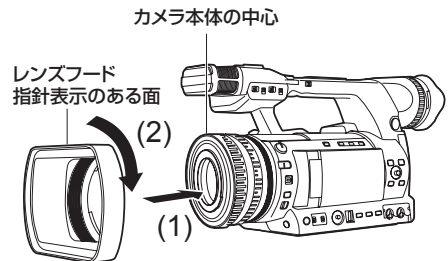
レンズフードを外す

- 反時計方向にレンズフードを回して外します。



レンズフードを取り付ける

- レンズフード指針表示のある面を天面になるようにして、カメラ本体の中心に指針を合わせてレンズフードをはめ込みます。
- 時計方向にレンズフードを、カチッと音がしてロックするまで回して取り付けます。



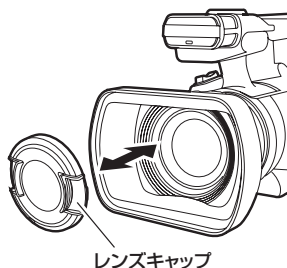
レンズキャップの取り外し・取り付け

レンズキャップを外す

- レンズキャップをつまんで外します。

レンズキャップを取り付ける

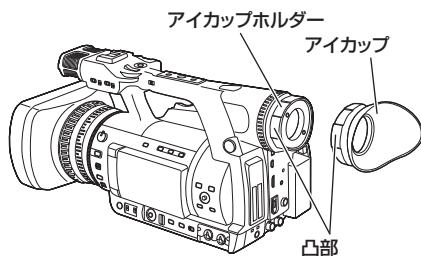
- レンズキャップをつまんで取り付けます。
- 使用しない時はレンズを保護するためにレンズキャップを取り付けてください。



アイカップの取り付け

アイカップホルダーとアイカップの凸部どうしを合わせて取り付けてください。

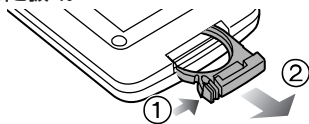
- 取り付け後にアイカップを回すと、アイカップホルダーが外れることがあります。アイカップホルダーが外れた時は、「ビューファインダーのお手入れ」(→ Vol. 2の158ページ)を参照して取り付けてください。



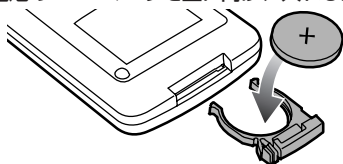
リモコンの準備

コイン電池を入れる

- 1 つまみを矢印①の方向に押しながら、ホルダーを引き抜く。



- 2 電池の“+”マークを上に向け、入れる。



- 3 ホルダーを元に戻す。



- 電池 (CR2025) が消耗した場合は、新しい電池と交換してください。(電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約1年です)
リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、電池が消耗しています。
- 電池は、幼児の手の届かない所に置いてください。

リモコンの設定

同時に2台のカメラレコーダーを使用した時に、リモコン操作での誤操作を防ぐため、本機と付属のワイヤレスリモコンの設定を、【動作モード1】用または【動作モード2】用に切り替えることができます。

設定方法

• ワイヤレスリモコン

操作ボタンの STOP (■) と STILL ADV (▶▶) を同時に押すと動作モード1用のリモコンに設定されます。

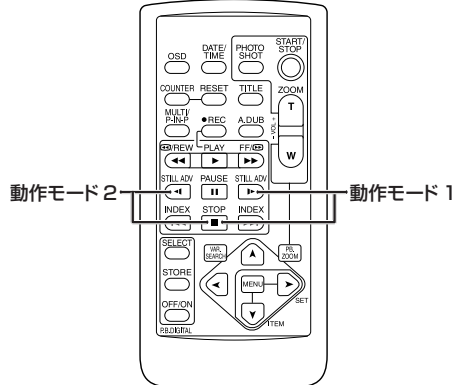
同様に、STOP (■) と STILL ADV (◀◀) を同時に押すと動作モード2用のリモコンに設定されます。

リモコンの電池を交換した時は、動作モード1用の設定になります。

• カメラレコーダー本体

設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の REMOTE 項目で1または2を設定します。(→ Vol. 2の150ページ)

カメラレコーダー本体とリモコンの設定が違う時は、ビューファインダーや液晶モニターに赤い文字の REMOTE が点灯して表示されます。



電源の入れかた・切りかた

ロック解除ボタンを押しながら、POWER/MODEスイッチをONまたはOFFの位置まで回します。

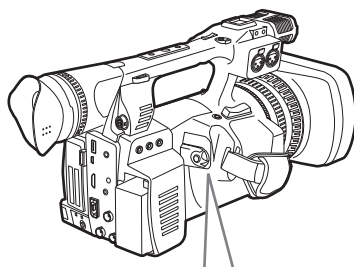
電源を入ると：

動作ランプ CAMERA が赤点灯し、撮影の待機状態 (CAMERA モード) になります。

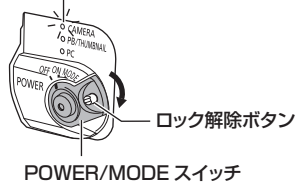
- MODE の位置まで POWER/MODE スイッチを回すと、動作ランプ PB/THUMBNAIL が緑点灯し、PB/THUMBNAIL モードになります。
(→ Vol. 2 の 74 ページ)
- MODE の位置まで回すたびに、CAMERA モードと PB/THUMBNAIL モードが切り替わります。

電源を切ると：

動作ランプ (CAMERA、PB/THUMBNAIL) が消灯します。



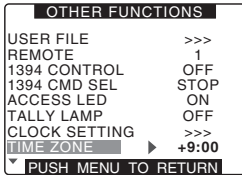
動作ランプ (CAMERA)



カレンダーを合わせる

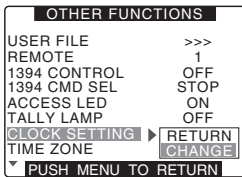
CLOCK SETTING の値は、コンテンツ（クリップ）に記録され、サムネールによる再生順序に影響します。記録の前に、必ず CLOCK SETTING と TIME ZONE を確認・設定してください。
ここではカレンダーを 2012 年 6 月 25 日 17 時 20 分に設定する手順を説明します。

- 1 本機の POWER/MODE スイッチを ON にする。（→ 24 ページ）
- 2 MENU ボタンを押す。
- 3 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の TIME ZONE 項目で、グリニッジ標準時間からの時差を OPERATION レバーを ▲ ▼ 方向に倒して、設定する。（→ Vol. 2 の 151 ページ）
日本で使う場合、「+9:00」（工場出荷モード）に設定します。

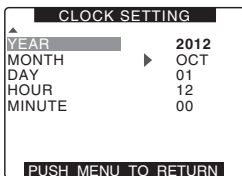


- メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」（→ 27 ページ）をご参照ください。
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは、「各部の名称（リモコン）」（→ 18 ページ）をご参照ください。

- 4 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の CLOCK SETTING 項目で CHANGE を選ぶ。

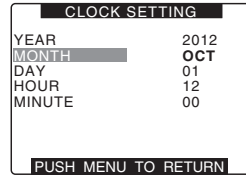


- 5 OPERATION レバーを ◀ ▶ 方向に倒して、YEAR を 2012 にする。

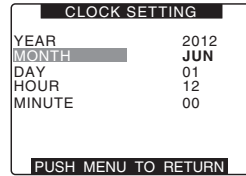


日付けは、2000 年 1 月 1 日から 2037 年 12 月 31 日まで設定できます。

- 6 OPERATION レバーを ▼ 方向に倒して、設定の項目を MONTH に移動する。

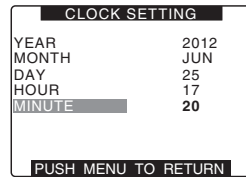


- 7 OPERATION レバーを ◀ ▶ 方向に倒して、MONTH を JUN にする。



- 8 手順 6、7 と同様の方法で、DAY・HOUR・MINUTE を設定する。

- HOUR は 24 時間表示です。



- 9 MENU ボタンを 3 度押して、メニューモードを解除する。

- 時刻には誤差が生じますので、撮影前に時間が合っているか確認してください。
- 海外で使う場合、CLOCK SETTING 項目を現地時間に合わせるのではなく、TIME ZONE 項目でグリニッジ標準時間からの時差変更を行ってください。

内蔵電池の充電

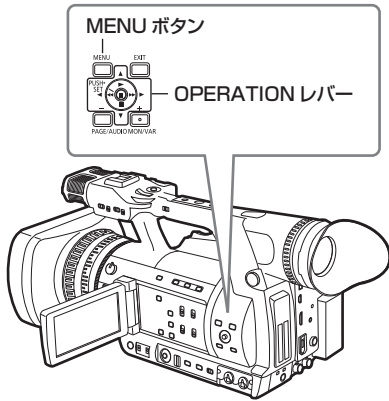
年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。ビューファインダーや液晶モニターの画面に [🔋] の表示が出る時は、内蔵電池が消耗しています。以下の方法で充電してください。充電完了後、日時を設定してください。

- 1 本機に AC アダプターを接続する。**
(→ 20 ページ)
 - 本機の POWER/MODE スイッチは、OFF のままにします。
- 2 約 4 時間、そのままの状態にしておく。**
 - 内蔵電池が充電されます。
 - 充電を行ったあとは、TC やメニューを確認してください。

充電後も [🔋] が表示される場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

設定メニューの基本操作

撮影シーンや記録内容に合わせて、本機の設定を設定メニューで変更することができます。

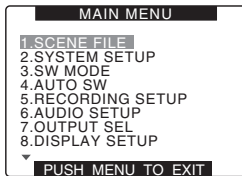


設定メニューの操作方法

- CAMERA モード以外で動作している時は CAMERA モードにしてください。(→ Vol. 2 の 74 ページ)
- 青文字で表示されているメニュー項目は使用できません。

1 CAMERA モードで記録動作中以外の時に、MENU ボタンを押す。

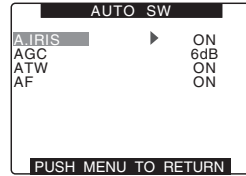
下記の機能画面が、ビューファインダーや液晶モニターに表示されます。



2 OPERATIONレバーを ▲ ▼ 方向に倒して、設定したい機能に反転表示している部分を移動する。

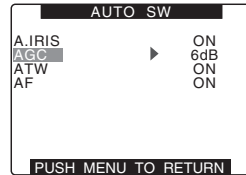
3 OPERATIONレバーの SET (または ► 方向) を押して、設定項目を表示する。

例：



4 OPERATIONレバーを ▲ ▼ 方向に倒して、設定したい項目に移動する。

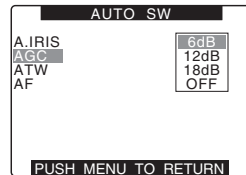
例：



5 OPERATIONレバーの SET を押して、設定する。

数値などを変更する時は、OPERATIONレバーを ▲ ▼ 方向に倒して、設定値を変更します。

例：



6 他の項目を変更する場合は、4～5を繰り返す。

設定を終了する場合は、MENU ボタンを押して、機能画面に戻ります。

7 他の機能を変更する場合は、2～5を繰り返す。

メニューモードを終了する場合は、再度 MENU ボタンを押して、通常画面に戻ります。

設定メニューの基本操作（つづき）

設定メニューを初期化する

設定メニューは、ユーザーファイルとシーンファイルに分かれており、それぞれを工場出荷時の状態に初期化することができます。

ユーザーファイル（シーンファイル以外の全項目）を初期化するには

OTHER FUNCTIONS 画面の USER FILE 項目で INITIAL を選択すると、現在使用しているユーザーファイルのメニュー設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

シーンファイル（SCENE FILE）を初期化するには 6 つのシーンファイルのうち、初期化したいファイルをシーンダイヤルで選択してください。その後、SCENE FILE 画面の LOAD/SAVE/INIT 項目で INITIAL を選択すると、選択したシーンファイルのみの設定値を工場出荷時の状態に戻すことができます。

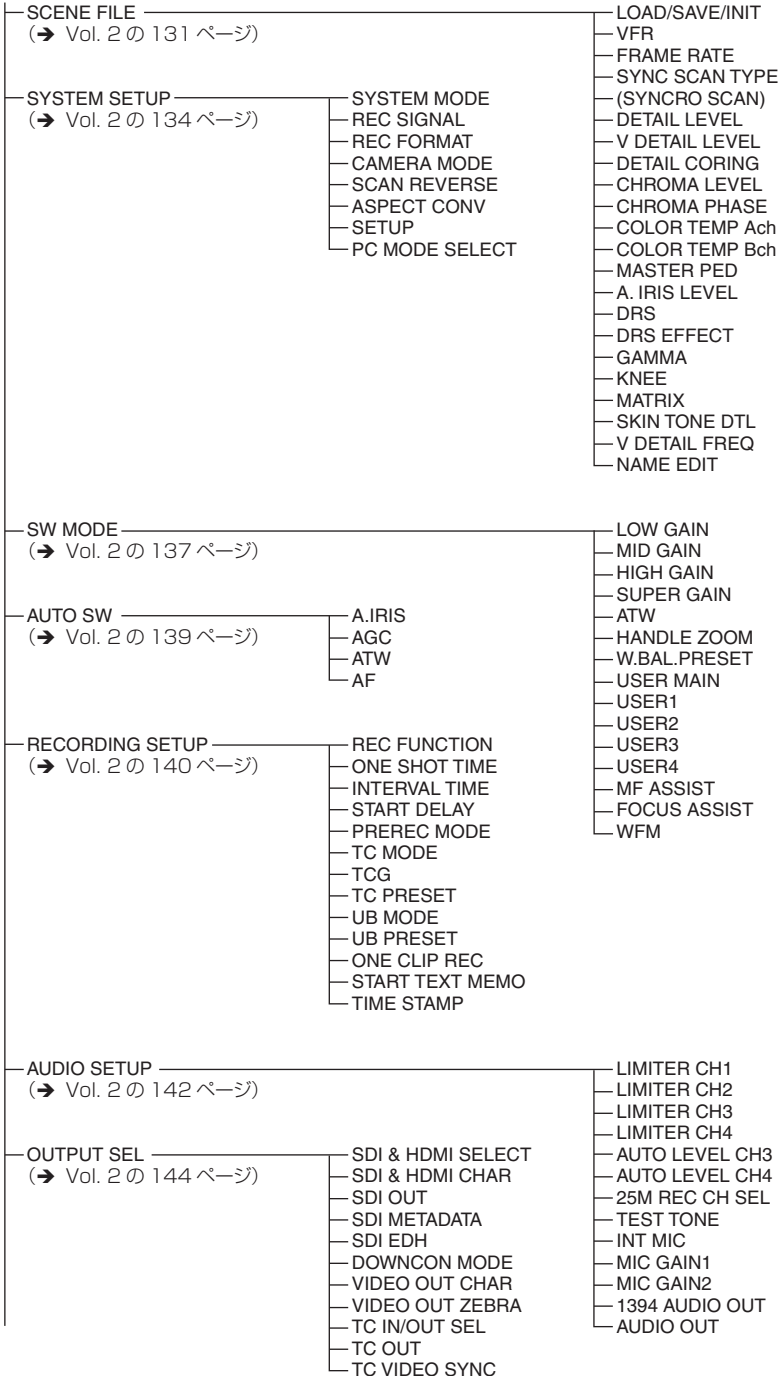
- シーンダイヤルで選択していないファイルには影響を与えません。

ユーザーファイル、シーンファイルを同時に初期化するには

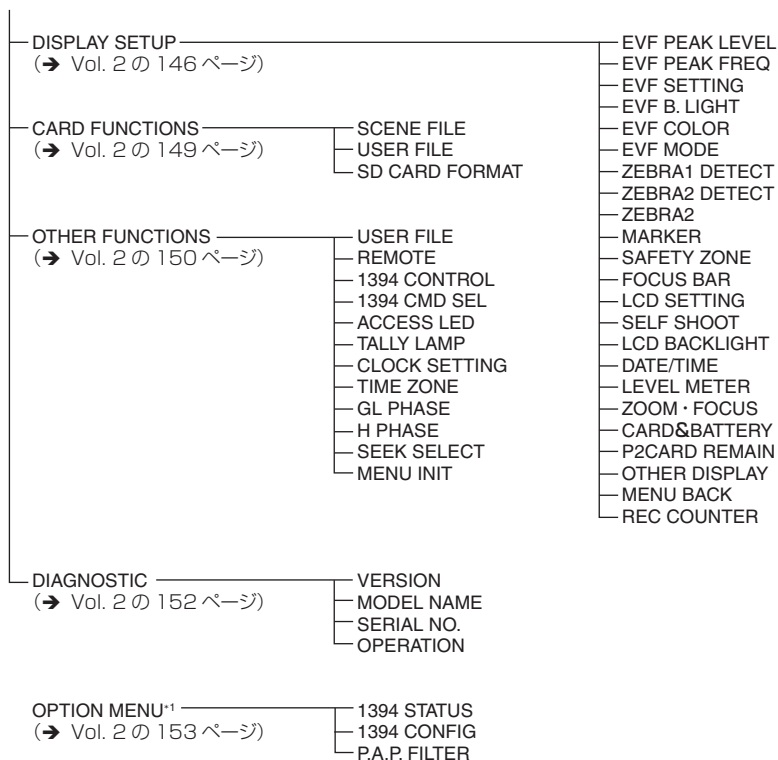
OTHER FUNCTIONS 画面の MENU INIT 項目で YES を選択すると、ユーザーファイルと 6 つのシーンファイル全てを工場出荷時の状態に戻すことができます。

設定メニューの構成

MAIN MENU



設定メニューの構成 (つづき)



*1 : OPTION MENU は、DISP/MODE CHK ボタンを押しながら MENU ボタンを押したときに表示されます。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

本機は P2HD 5 年間無償修理特約の対象商品です。お客様が本機を購入後 1 カ月以内にウェブサイトからユーザー登録を行うと、最大 5 年間の無償修理特約が提供されます。より詳しい情報については、下記の、P2 Asset Support System ウェブサイトをご覧ください。

日本語：http://panasonic.biz/sav/pass_j/

英語：http://panasonic.biz/sav/pass_e/

■補修用性能部品 8年

当社では、メモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。


ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AG-HPX255
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

【総合】

電源	DC 7.2 V (バッテリー使用時) DC 7.9 V (ACアダプター使用時)
消費電力	17.5 W (液晶モニター、AG-EC4G 使用時) 15 W (液晶モニター使用時)

 は安全項目です。

動作周囲温度

0 °C ~ 40 °C

動作周囲湿度

10% ~ 80% (結露なし)

質量

約 2.5 kg (本体のみ)

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

180 mm × 195 mm × 438 mm
(突起部を除く)

【カメラ部】

撮像素子

1/3 型プログレッシブ、220 万画素、3MOS

有効画素数

1920 (H) × 1080 (V)

レンズ

光学式手ぶれ補正レンズ、22 倍 電動ズーム、
F1.6 ~ 3.2 (f = 3.9 mm ~ 86 mm)
35 mm 換算: 28 mm ~ 616 mm (16:9)

フィルター径

72 mm

色分解光学系

プリズム方式

ND フィルター

OFF、1/4、1/16、1/64

最短撮影距離

約 1 m

フード

広視野 大型レンズフード

ゲイン切り替え

0/+3/+6/+9/+12/+15/+18/+24/
+30 dB (+24、+30 dB は、USER SW 割
付のみ)

シャッタースピード

- 60i/60p モード:
1/60 (OFF)、1/100、1/120、1/250、
1/500、1/1000、1/2000 秒
- 30p モード:
1/30 (OFF)、1/60、1/100、1/120、
1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒
- 24p モード:
1/24 (OFF)、1/60、1/100、1/120、
1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒
- 50i/50p モード:
1/50 (OFF)、1/60、1/120、1/250、
1/500、1/1000、1/2000 秒
- 25p モード:
1/25 (OFF)、1/50、1/60、1/120、
1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒

スローシャッター

- 60i/60p モード: 1/15、1/30 秒
- 30p モード: 1/7.5、1/15 秒
- 24p モード: 1/6、1/12 秒
- 50i/50p モード: 1/12.5、1/25 秒
- 25P モード: 1/6.25、1/12.5 秒

シンクロシャッター

- 60i/60p モード: 1/60.0 ~ 1/249.8 秒
- 30p モード: 1/30.0 ~ 1/249.8 秒
- 24p モード: 1/24.0 ~ 1/249.8 秒
- 50i/50p モード: 1/50.0 ~ 1/250.0 秒
- 25p モード: 1/25.0 ~ 1/250.0 秒

シャッター開角度

3 deg ~ 359.5 deg、0.5 deg ステップで設定
可能

フレームレート

- 59.94 Hz モード:
1080p:
1/2/4/6/9/12/15/18/20/21/22/
24/25/26/27/28/30 fps (フレーム/秒)
17 step
720p:
1/2/4/6/9/12/15/18/20/21/22/
24/25/26/27/28/30/32/34/36/
40/44/48/54/60 fps (フレーム/秒)
25 step
- 50 Hz モード:
1080p:
1/2/4/6/9/12/15/18/20/21/22/
23/24/25 fps (フレーム/秒) 14 step
720p:
1/2/4/6/9/12/15/18/20/21/22/
23/24/25/26/27/28/30/32/34/
37/42/45/48/50 fps (フレーム/秒)
25 step

感度

- 59.94Hz モード
F7 (1080/59.94i、P.A.P FILTER: TYPE2)
F10 (1080/59.94i、P.A.P FILTER: TYPE1)
- 50Hz モード
F8 (1080/50i、P.A.P FILTER: TYPE2)
F11 (1080/50i、P.A.P FILTER: TYPE1)
(2000lx、3200K、89.9% 反射)

最低被写体照度

約 0.2 lx (F1.6、ゲイン +30 dB、シャッター
スピード 1/30 秒、P.A.P FILTER: TYPE1)

デジタルズーム

×2、×5、×10

【メモリーカードレコーダー部】

記録メディア

P2 カード

記録フォーマット

AVC-Intra 100/AVC-Intra 50/DVCPRO HD/
DVCPRO50/DVCPRO/DV フォーマット切替

記録再生時間

AVC-Intra 100/DVCPRO HD:

8 GB×1 約 8 分
16 GB×1 約 16 分
32 GB×1 約 32 分
64 GB×1 約 64 分

AVC-Intra 50/DVCPRO50:

8 GB×1 約 16 分
16 GB×1 約 32 分
32 GB×1 約 64 分
64 GB×1 約 128 分

DVCPRO/DV:

8 GB×1 約 32 分
16 GB×1 約 64 分
32 GB×1 約 128 分
64 GB×1 約 256 分

- 上記の時間は、1 クリップとして連続記録したとき
のものです。
記録するクリップ数によっては、全体の記録時間は
上記より短くなる場合があります。

【デジタルビデオ部】

記録ビデオ信号

1080/59.94i、1080/29.97p、
1080/29.97pN、1080/23.98p、
1080/23.98pA、1080/23.98pN
720/59.94p、720/29.97p、
720/29.97pN、720/23.98p、
720/23.98pN、480/59.94i、
480/29.97p、480/23.98p、
480/23.98pA、1080/50i、1080/25p、
1080/25pN、720/50p、720/25p、
720/25pN、576/50i、576/25p

サンプリング周波数

AVC-Intra 100/DVCPRO HD:

Y: 74.1758 MHz、
P_B/P_R: 37.0879 MHz (59.94 Hz)
Y: 74.2500 MHz、
P_B/P_R: 37.1250 MHz (50 Hz)

DVCPRO50:

Y: 13.5 MHz、P_B/P_R: 6.75 MHz

DVCPRO:

Y: 13.5 MHz、P_B/P_R: 3.375 MHz

量子化

AVC-Intra 100/AVC-Intra 50:

10 bits
DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPRO/DV:
8 bits

ビデオ圧縮方式

AVC-Intra 100/AVC-Intra 50:

MPEG-4 AVC/H.264 Intra Profile

DVCPRO HD:

DV-Based Compression (SMPTE 370M)

DVCPRO50/DVCPRO:

DV-Based Compression (SMPTE 314M)

DV:

DV Compression (IEC 61834-2)

【デジタルオーディオ部】

記録オーディオ信号

AVC-Intra 100/AVC-Intra 50/
DVCPRO HD:

48 kHz/16 bits、4CH

DVCPRO50:

48 kHz/16 bits、4CH

DVCPRO/DV:

48 kHz/16 bits、2CH/4CH 切替

定格 (つづき)

【入出力部】

GENLOCK IN

BNC×1、1.0 V [p-p]、75 Ω

VIDEO OUT

ピンジャック×1、1.0 V [p-p]、75 Ω

SDI OUT

BNC×1 (10 bits 4:2:2*)、0.8 V [p-p]、75 Ω、

HD/SD メニュー切替可

* カメラスルー

HDMI OUT

HDMI TypeA

内蔵 MIC IN

ステレオマイクロホン対応

AUDIO IN

- XLR×2、3ピン (INPUT 1、INPUT 2)
- LINE/MIC/+48 V 切替可
- LINE: 0 dBu
- MIC: -40/-50/-60 dBu
メニュー切替可

AUDIO OUT

ピンジャック×2 (CH1/CH2)、

出力: 316 mV、600 Ω

CAM REMOTE

2.5 mm 径

スーパーミニジャック×1 (ZOOM、S/S)

3.5 mm 径

ミニジャック×1 (FOCUS、IRIS)

REMOTE

10ピン

ヘッドホン

φ 3.5 mm ステレオミニジャック×1

スピーカー

20 mm 径、丸形×1

TC IN/OUT

BNC×1

IN 時:

0.5 V [p-p] ~ 8 V [p-p]、10 k Ω

OUT 時:

ローインピーダンス、2.0±0.5 V [p-p]

IEEE1394

6ピン、デジタル入出力、IEEE1394に準拠

USB2.0 (DEVICE)

Type-miniB、4ピン USB ver2.0 準拠

USB2.0 (HOST)

Type-A、4ピン USB ver2.0 準拠

液晶モニター

3.45型液晶カラーモニター、約92.1万ドット (16.9)

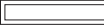
EVF

0.45型液晶カラーモニター、約122.6万ドット相当 (16.9)

【ACアダプター】

定格入力 100 V - 240 V AC、50/60 Hz
0.55 A

定格出力 7.9 V DC、2.53 A

 は安全項目です。

質量

220 g

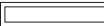
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

42 mm×31 mm×104.4 mm

【バッテリー充電器】

定格入力 100 V - 240 V AC、
50/60 Hz
26 VA (AC100 V時) /
36 VA (AC240 V時)

定格出力 8.4 V DC、1.2 A

 は安全項目です。

質量

160 g

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

70 mm×35 mm×115 mm (突起部分を除く)

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、
正しい廃棄方法をお問い合わせください。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2012